

おかげさまで、このような活動ができました！

2025年4月～2025年9月

取扱食品量

264トン

団体向け支援事業における
支援団体
(延べ数)

2372 団体

個人向け支援事業における
個人支援世帯
(延べ数)

5955 世帯

パントリー*開催

9 回

寄贈元
(延べ数 企業、団体、個人含む)

241 件

松阪出張所での
支援食品重量

*2024年12月～2025年9月

14.5トン

*パントリーとは団体向けの食品配布活動のこと

団体向け支援事業

6月	緊急!!乳製品を救え!パントリー	(ヤクルト、コーヒー牛乳、チョコレート菓子等)
	緊急第二弾!!炭酸ジュースを救え!パントリー	(炭酸ジュース、砂糖菓子、スナック菓子、レトルトカレー等)
7月	エンジョイ夏休みパントリー	(冷凍食品、鍋つゆ、砂糖菓子、お菓子、フルーチェ等)
8月	夏休み最後のパントリー	(カップ麺、クッキー、ドーナツ、カフェラテ等)
9月	9月の暑さを乗り切ろうパントリー	(冷凍食品、アイス、お茶、お菓子、ゼリー等)

個人向け支援事業

7月	aiちゃんsmileセット 第5弾 (ひとり親家庭など 宅配支援プロジェクト)
8月	aiちゃんsmileセット 第5弾 (ひとり親家庭など 宅配支援プロジェクト)
9月	aiちゃんsmileセット 第5弾 (ひとり親家庭など 宅配支援プロジェクト)

個人支援総数が
1万3000名を
超えました。

Voices

支援をお受け取りいただいた方からの心温まるお声



ひとり親になり常に孤独です。本来は支え合うパートナーとする子育て。それを1人で担う重圧に押しつぶされそうになる時があります。そんな時にこうして助けてくれる団体の存在は孤独じゃないんだと思えて心強いです。いつもありがとうございます。

岐阜県・35歳 女性 子供2人 ひとり親世帯

この度はご支援をありがとうございました。わたしも子どもたちが大きくなったら支援される側からする側になりたいと思います。

愛知県・44歳 女性 子供2人 ひとり親世帯

お問い合わせ：

0568-65-6650

または検索

フードバンク愛知



お問合せフォーム



ご寄付はコチラ

ふれあい
2025/7号

発行：認定特定非営利活動法人フードバンク愛知

〒481-0011

愛知県北名古屋市高田寺砂場18番地

https://foodbank-aichi.org/
0568-65-6650



Food Bank Aichi
フードバンク愛知

あい
ふれあい

THANK YOU REPORT



4月より行っている宅配での個人支援食品セットを箱詰めしている様子

2025年10月17日発行

2025年7月～10月の活動をご紹介します





認定特定非営利活動法人

Food Bank Aichi

フードバンク愛知



NEWS

フードバンク愛知は認定NPOになりました



このたび、当法人は皆さまのご支援のおかげさまで「認定NPO法人」として認定を受けることができました。今後も食品ロスを有効活用し生活にお困りのご家庭のお力になれるように、社会に必要とされる活動を一層推進してまいります。皆様には引き続きのご支援を心よりお願い申し上げます。

フードバンク愛知 理事長 宮尾 久子

Topix

個人支援希望者に行った調査報告

夏休み実施アンケート

支援希望者：749名調査

- ・ 家族構成：回答者の59%が18歳未満の子どものいるひとり親世帯
- ・ 世帯年収：66%が300万円未満、40%が200万円未満。全国平均を大幅に下回る収入
- ・ 支援希望理由：88%が「お米の高騰」を理由に申請
- ・ 子どもの体験機会：回答の56%の家庭が「直近1年間で体験活動が減った」と回答、自然体験や旅行などで半数以上が「体験できていない」
- ・ 学習への影響：31%が「塾や予備校に行けない」、11%が「参考書を購入できない」、10%が「オンライン学習ツールを利用できない」と回答



今回の調査から、経済的困難が子どもの成長に必要な体験や学びを奪っている実態が見えました。フードバンクとして食の支援を続けるとともに、体験格差・学習格差の是正に社会全体で取り組む必要があります。

調査の詳しい内容は
右記QRコード読み取り
ご覧ください。



Event

防災フォーラム2025に参加いたしました



2025/10/10(金)、東京都内にて開催された「防災フォーラム2025」(主催：清和ビジネス)に出展いたしました。

当日は、企業の皆さまに向けて、防災備蓄品を効率的に支援へとつなげる方法や、各地の企業拠点と連携した「地産地消型」の活用モデル、そして防災品を“日常的に美味しく食べる”工夫など、フードバンクならではの視点を活かしたご提案を行いました。

また、全国に広がるネットワークを活用することで、企業の皆さまが持つ支店や倉庫などの備蓄品を、地域の福祉施設やこども食堂などにスムーズに届ける仕組みについてもご紹介。多くの企業の皆さまから関心を寄せていただき、具体的なお相談もいただくなど、手応えを感じる場となりました。

フードバンク愛知では、今後も「もったいないをありがとうへ」の理念のもと、企業と地域、そして支援を必要とする人々をつなぐ新たな取り組みを広げてまいります。



Volunteer

企業からのボランティア参加をいただきました

2025年の夏は、株式会社LAWSON様と全ユニー労働組合様よりボランティアにお越しいただきました。企業・個人共にボランティアは随時受付いたしております。「普段はしない倉庫作業を体験出来て楽しかった」などのお声をいただきありがたい限りです。ボランティアにご興味がある方はホームページよりお問合せください。



食品配送費・光熱費・倉庫費などのサポートをお願いできると助かります

フードバンクの活動には、配送のためのガソリン代、保管のための光熱費・倉庫費用が毎月かかっています。

活動の継続のために、カンパをいただけると大変助かります。
月ごと・年ごとで自動的に引き落としとなる継続的なご寄付も募集しています。

